

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 3R推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 廃棄物対策課 資源循環推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2714)

E-mail：c11225@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,568 千円 (前年度予算額：3,867 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,867	0	0	0	0	0	0	0	3,867
要求額	3,568	0	0	0	0	0	0	0	3,568
決定額	3,568	0	0	0	0	0	0	0	3,568

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄に支えられたライフスタイルを見直し、環境への負荷軽減が図られた循環型社会への転換を図るため、3R (リデュース、リユース、リサイクル) を推進することは重要な課題である。

廃棄物の発生抑制 (リデュース、リユース) 及び有価な循環資源の再活用 (リサイクル) を推進するためには、県民一人一人の行動が重要であり、市町村、民間団体及び事業所と連携し、分かりやすい形で普及啓発を進めていくことが必要である。

(2) 事業内容

- ・リサイクル認定製品の認定及び利用促進
- ・循環型社会形成推進事業

グリーン購入の取組及び普及

(東海三県一市共同取組・令和3年度事務局：岐阜県)

ごみ減量化・環境にやさしい買い物の普及啓発

中部圏循環型社会実現推進会議

(3) 県負担・補助率の考え方

循環型社会の形成に向けた取り組みを推進することは県の責務でもあり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	126	リサイクル認定製品審査委員報酬
旅費	281	職員業務、リサイクル認定製品審査委員旅費他
需用費	2,435	リサイクル認定製品検査消耗品費他
役務費	473	郵便代、電話料
その他	253	グリーン購入関係負担金、会費他
合計	3,568	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
 - ②美しく豊かな環境の保全・継承
- ・ 第3次岐阜県廃棄物処理計画（予定）（計画期間：令和3年～令和12年度）

(2) 国・他県の状況

東海三県一市（愛知県、三重県、岐阜県、名古屋市）等で構成している実行委員会で、東海エリアにおいてグリーン購入キャンペーンを共同展開

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
循環型社会の形成を図るため、ごみ減量化に繋がる啓発活動を通じて3Rの県民への普及を引き続き実施していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
東海3県1市グリーン購入キャンペーン参加店舗数 (岐阜県分)	408店舗 (H19)	835店舗 (H29)	772店舗 (H30)	756店舗 (R1)	894店舗 (R3)	84.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - (1) リサイクル認定製品認定事業
リサイクル認定製品認定審査委員会 年1回
令和2年9月1日現在の認定製品数 165製品
 - (2) 循環型社会形成推進事業
東海三県一市グリーン購入キャンペーンへの参加他
中部圏循環型社会実現推進会議参加

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
リサイクル（再生利用）については、リサイクル認定製品の安全性及び信頼性の確保と利用拡大を図ってきたことにより、廃棄物の発生抑制、リサイクルの促進が期待される。
東海三県一市グリーン購入キャンペーンの懸賞企画には約3,600人（東海三県一市で共同実施）が応募するなどグリーン購入について啓発できた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	循環型社会の形成の実現にあたっては、県民、事業者、県を含む行政が協働して、3R施策（リデュース：発生抑制、リユース：再利用、リサイクル：再生利用）に取り組む必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	本事業により、廃棄物の発生抑制及びリサイクルの促進が期待され、事業効果が得られていると考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	県民、事業者、行政それぞれの自主的かつ積極的な取組を促進するとともに、協働して循環型社会の形成を目指すため、広域でグリーン購入のキャンペーンを実施し、着実に参加者を増やしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>リサイクル認定製品について、公共事業等での積極的な利用を更に推進していく必要がある。また、単に循環資源を使用しているというだけではなく、デザインや機能性等を向上させた売れる製品の開発を促進する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>翌年度以降も継続して事業を実施する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	

